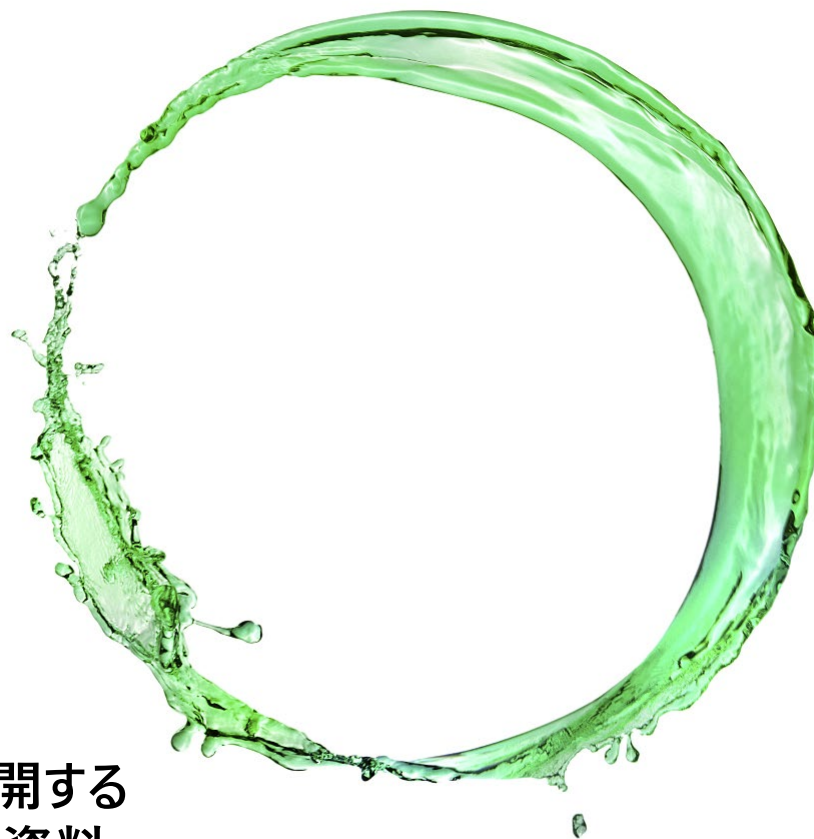


# Deloitte.

デロイト トーマツ



## ESGソリューションサービスを展開する 各社との対談シリーズ：参考資料 ～ワーキーバジヤパン合同会社様との対談～

デロイト トーマツグループ

(本資料の情報は 2023/11/1時点のものです)

# アンケート回答 (1 of 3)

対談に際し、ご回答いただいたアンケートです。

No.	分類	設問	回答欄
1	製品概要	ESGソリューションの製品名、製品タイプ、注力領域、製品概要（200文字以内）、セキュリティ関連・価格体系を回答ください。価格体系についてはA4×1枚で補足資料を提供ください。	<p>・ESGソリューション製品名（既にローンチされている製品、複数ある場合は主要3製品まで）： Workiva ESG Reporting (Essentials) Workiva ESG Reporting (Enterprise)</p> <p>・製品タイプ（以下より単一選択）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● SaaS型（基本的なカスタマイズに対応）</li> <li>○ SaaS型（個社要件に応じた柔軟なカスタマイズが可能）</li> <li>○ オンプレミス・ローコード型</li> <li>○ オンプレミス・ノーコード型</li> <li>○ その他（製品概要に記載）</li> </ul> <p>・最も注力する領域（以下より単一選択）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種フレームワークに標準対応した情報開示</li> <li>○ ワークフロー/内部統制/監査証跡/内部管理</li> <li>○ 経営管理/意思決定サポート/マネジメントツール</li> <li>○ 非財務情報（GHG排出量等）収集/算定/可視化/モニタリング</li> <li>○ サプライチェーンリスク・機会評価</li> <li>○ 製品/サービス影響評価</li> <li>○ 他社/業界/外部連携プラットフォーム</li> <li>○ その他（製品概要に記載）</li> </ul> <p>・製品概要（200文字以内）： Workivaは、財務・非財務・GRCの業務を簡素化するデータ・エンバウメント・プラットフォームをSaaSで提供しています。ESG開示に必要なデータ提供依頼、集計・集約と各プロセスの履歴を管理しながらFactBookを作成し、各情報開示業務・レポート作成までを行うEnd to Endプラットフォームです。</p> <p>・セキュリティ関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ISMS認証取得（ISO/IEC27001など）</li> <li>■ 認証機能（ログインなど）</li> <li>■ 機能制限・権限制御</li> <li>■ データの暗号化</li> <li>□ 不正検知・監視機能</li> </ul> <p>・価格体系</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ パッケージ料金制</li> <li>□ 従量課金制</li> <li>■ その他の価格体系（下記に記載：50文字内）：ESG、ファイナンス、GRC、マネジメントレポートなどユースケース単位でのサブスクリプション体系</li> </ul>
2	主要ターゲット	最も注力する企業規模を選択ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グローバルに事業展開する大企業</li> <li>○ 主に国内で事業展開する大企業</li> <li>○ 中小企業</li> <li>○ ベンチャー・スタートアップ</li> </ul>
3	対象領域	貴社製品が対象範囲とするESG領域を回答ください。（複数選択）	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 気候変動・脱炭素（下記より選択） <ul style="list-style-type: none"> <li>■ Scope1 ■ Scope2 ■ Scope3</li> <li>□ 製品カーボンフットプリント</li> </ul> </li> <li>■ 資源循環・サーキュラーエコノミー</li> <li>■ 水資源</li> <li>■ 化学物質・汚染の予防</li> <li>■ 自然資本・生物多様性</li> <li>■ 人事・労務</li> <li>■ 労働安全衛生</li> <li>■ 人権</li> <li>■ 調達・サプライチェーン</li> <li>■ 社会貢献</li> <li>■ コーポレートガバナンス</li> <li>■ コンプライアンス</li> <li>■ リスクマネジメント</li> </ul> <p>■ その他のESG領域（下記に記載：50文字内）：上記項目を含むデータ収集及び情報開示・レポート全般になります。</p>

# アンケート回答 (2 of 3)

対談に際し、ご回答いただいたアンケートです。

No.	分類	設問	回答欄
4	基本機能 (インプット)	データのインプットに関して、既に実装されている標準機能を回答ください。 (複数選択)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ マニュアル入力</li> <li>■ ファイルのインポート (エクセルやCSVファイルなどの取り込みを想定)</li> <li>■ 社内他システムからの連携・インポート※ (会計、生産管理、人事、廃棄物管理、等を想定)</li> <li>■ 社外他システムからの連携・インポート※ (排出原単位DB、サプライチェーン、顧客、業界プラットフォーム、ESG評価機関DB、等を想定)</li> <li>■ サプライヤー等、外部ユーザーによるマニュアル入力・ファイルインポート等による入力 (取引先からのGHG排出量等を想定)</li> <li>■ 入力エラーチェック機能</li> <li>■ 複数言語対応</li> <li>・ 対象データ <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 定量情報 (各種活動量等を想定)</li> <li>■ 定性情報 (推進体制、各種方針等を想定)</li> </ul> </li> </ul> <p><input type="checkbox"/> その他のインプット機能 (下記に記載: 50文字内) :</p> <p>※他システムからの連携で制約条件等があれば記載ください (下記に記載: 200文字以内) :</p>
5	基本機能 (プロセス)	インプットしたデータの処理に関して、既に実装されている標準機能を回答ください。 (複数選択)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ データの蓄積・保管</li> <li><input type="checkbox"/> 傾向分析</li> <li><input type="checkbox"/> 将来予測</li> <li><input type="checkbox"/> シミュレーション</li> <li><input type="checkbox"/> AI連携機能 (例: ESGの取り組みが株価の時価総額に与える影響をAIモデルによってシミュレーション可能、など)</li> <li>■ 単位変換</li> <li>■ 係数換算</li> <li>■ 階層・組織別集計</li> <li>標準対応している階層・組織数を記載ください ( )</li> <li><input type="checkbox"/> 報告先毎の換算係数制御 (温対法・省エネ法、GHGプロトコル等を想定)</li> <li><input type="checkbox"/> KPI自動計算 (下記より選択) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> Scope1排出量</li> <li><input type="checkbox"/> Scope2排出量</li> <li><input type="checkbox"/> Scope3排出量</li> <li><input type="checkbox"/> リサイクル率 (廃棄物)</li> <li><input type="checkbox"/> リサイクル率 (水)</li> <li><input type="checkbox"/> 女性管理職比率</li> <li><input type="checkbox"/> 男性育児休暇取得率</li> <li><input type="checkbox"/> 男女間賃金格差</li> <li><input type="checkbox"/> 人材育成時間・費用 (一人当たり)</li> <li><input type="checkbox"/> 度数率・強度率</li> <li><input type="checkbox"/> 平均年齢</li> <li><input type="checkbox"/> 平均勤続年数</li> <li><input type="checkbox"/> 離職率</li> <li><input type="checkbox"/> 独立社外取締役比率</li> <li><input type="checkbox"/> 女性取締役比率</li> </ul> </li> </ul> <p>■ その他のKPI (下記に記載: 50文字内) : 情報開示に必要なデータ収集・加工をスプレッドシートを使い柔軟に上記KPI他を実装できます。</p>
6	基本機能 (アウトプット)	処理結果のアウトプットに関して、既に実装されている標準機能を回答ください。 (複数選択)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 標準テンプレートやダッシュボード画面への出力</li> <li>■ カスタム形式での出力</li> <li>■ 開示・報告フレームワークに対応した出力 (下記より複数選択) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 省エネ法</li> <li><input type="checkbox"/> 温対法</li> <li>■ GRI</li> <li>■ SASB</li> <li>■ TCFD</li> <li><input type="checkbox"/> TNFD</li> <li><input type="checkbox"/> 米国SEC気候変動開示規則</li> <li>■ 欧州CSRD</li> <li>■ ESRs</li> <li><input type="checkbox"/> ISSB S1・S2</li> </ul> </li> <li><input type="checkbox"/> 目標未達等の設定基準に基づく自動アラート</li> <li>■ 権限制御</li> <li>■ 社内他システムへの連携・エクスポート※</li> <li>■ 社外他システムへの連携・エクスポート※</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> その他のアウトプット機能 (下記に記載: 50文字内) :</p> <p>既存の報告フォームや、各省庁の様式を取り込み、開示に適したレポートを作成ができ、MS Office形式、PDF、InDesign、XHTML等へのエクスポートも可能です。</p> <p>※他システムへの連携で制約条件等があれば記載ください (下記に記載: 200文字以内) :</p> <p>数多くの外部システムとの連携が可能です。詳細については以下をご参照ください。  <a href="https://support.workiva.com/hc/en-us/articles/360035643892-Connector-types">https://support.workiva.com/hc/en-us/articles/360035643892-Connector-types</a></p>

# アンケート回答 (3 of 3)

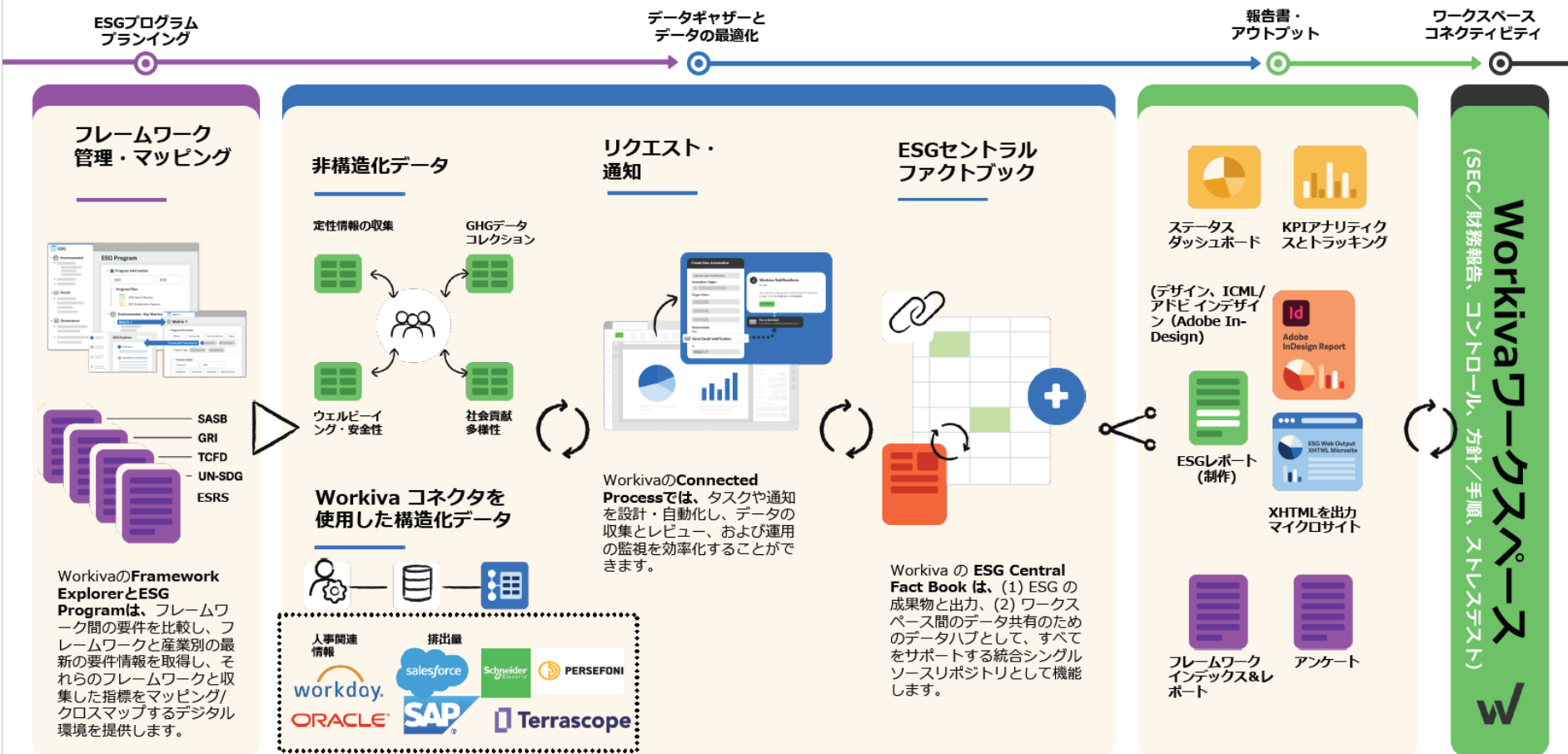
対談に際し、ご回答いただいたアンケートです。

No.	分類	設問	回答欄
7	製品・機能	貴社製品に内包されている気候変動・脱炭素に係る係数を回答ください。 (複数選択)	<input type="checkbox"/> 地球温暖化係数 (GWP) <input type="checkbox"/> スコープ1 換算係数 (地球温暖化対策推進法に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における排出係数等を想定) <input type="checkbox"/> スコープ2 ロケーション基準への対応係数 (IEA 各国平均係数やIGESのCDMデータベース等を想定) <input type="checkbox"/> スコープ2 マーケット基準への対応係数 (電力事業者排出係数等を想定) <input type="checkbox"/> スコープ3 (係数対応しているカテゴリを以下より選択) <input type="checkbox"/> Cat.1 <input type="checkbox"/> Cat.2 <input type="checkbox"/> Cat.3 <input type="checkbox"/> Cat.4 <input type="checkbox"/> Cat.5 <input type="checkbox"/> Cat.6 <input type="checkbox"/> Cat.7 <input type="checkbox"/> Cat.8 <input type="checkbox"/> Cat.9 <input type="checkbox"/> Cat.10 <input type="checkbox"/> Cat.11 <input type="checkbox"/> Cat.12 <input type="checkbox"/> Cat.13 <input type="checkbox"/> Cat.14 <input type="checkbox"/> Cat.15 <input type="checkbox"/> ライフサイクルインベントリ (LCI) データベース (____)  <input type="checkbox"/> その他の係数 (下記に記載: 50文字内):  上記係数に関する補足があれば (100文字以内):
8	導入実績	導入実績について回答ください。 総数 (社、拠点、ユーザー) は全導入実績の合計数で回答ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総社数 (以下より単一選択)  <input type="radio"/> ~10 <input type="radio"/> ~100 <input type="radio"/> ~1,000 <input checked="" type="radio"/> ~10,000 <input type="radio"/> ~100,000 <input type="radio"/> 100,000~</li> <li>・ 総拠点数 (以下より単一選択)  <input type="radio"/> ~10 <input checked="" type="radio"/> ~100 <input type="radio"/> ~1,000 <input type="radio"/> ~10,000 <input type="radio"/> ~100,000 <input type="radio"/> 100,000~</li> <li>・ 総ユーザー数 (以下より単一選択)  <input type="radio"/> ~10 <input type="radio"/> ~100 <input type="radio"/> ~1,000 <input type="radio"/> ~10,000 <input type="radio"/> ~100,000 <input checked="" type="radio"/> 100,000~</li> <li>・ 導入実績の多い国・地域 (以下より単一選択)  <input type="radio"/> 日本国内 <input checked="" type="radio"/> 海外</li> <li>・ 最も導入実績の多い企業規模 (以下より単一選択)  <input checked="" type="radio"/> グローバルに事業展開する大企業 <input type="radio"/> 主に国内で事業展開する大企業 <input type="radio"/> 中小企業 <input type="radio"/> ベンチャー・スタートアップ</li> <li><input type="checkbox"/> 外部システムとの接続実績 (主要接続先を3つ以内で記載ください)            1: (SAP)、2: (Oracle)、3: (Persefoni)</li> <li><input type="checkbox"/> 導入実績なし</li> </ul>
9	体制	導入支援体制や標準的な導入期間、導入後のサポート体制について回答ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入支援体制の総人員数 (以下より単一選択) グローバルレベル  <input type="radio"/> ~10 <input type="radio"/> ~100 <input checked="" type="radio"/> ~1,000 <input type="radio"/> ~10,000 <input type="radio"/> 10,000~</li> <li>・ 社外協力ベンダー認定制度 (以下より単一選択)  <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない <input type="radio"/> 検討中</li> <li>・ 社外協力ベンダーの総人員数 (社外・パートナー企業で以下より単一選択) グローバルレベル  <input type="radio"/> ~10 <input type="radio"/> ~100 <input type="radio"/> ~1,000 <input checked="" type="radio"/> ~10,000 <input type="radio"/> 10,000~</li> <li>・ 標準的な導入期間 (以下より単一選択)  <input type="radio"/> ~1ヶ月 <input checked="" type="radio"/> 1ヶ月~半年 <input type="radio"/> 半年~1年 <input type="radio"/> 1年~2年 <input type="radio"/> 2年~</li> <li>・ 導入後支援体制の人員数 (社内で以下より単一選択) グローバルレベル  <input type="radio"/> ~10 <input type="radio"/> ~100 <input checked="" type="radio"/> ~1,000 <input type="radio"/> ~10,000 <input type="radio"/> 10,000~</li> <li>・ 導入後支援体制の人員数 (社外・パートナー企業で以下より単一選択) グローバルレベル  <input type="radio"/> ~10 <input type="radio"/> ~100 <input type="radio"/> ~1,000 <input checked="" type="radio"/> ~10,000 <input type="radio"/> 10,000~</li> <li>・ 導入後のサポート機能 (以下より複数選択)  <input checked="" type="checkbox"/> ヘルプデスク <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> チャット <input checked="" type="checkbox"/> 通話 <input type="checkbox"/> 左記の多言語対応 (24 x 7を利用するには英語での問合せが前提となります)</li> </ul>
10	拡張	今後、拡張予定の領域や機能について回答ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拡張予定 (200文字以内):            SASB、GRI、TCFD、ESRS、SDGsなど各フレームワークに追従し、ESG情報開示を効率的にできるようサポートしていきます。並行してプラットフォームとしての生成AI他、機能エンハンスに対し継続的に投資していきます。</li> </ul>

# ワーキーバジャパン合同会社からのご提供資料 (1 of 3)

対談に際し、ご提供いただいた資料です。

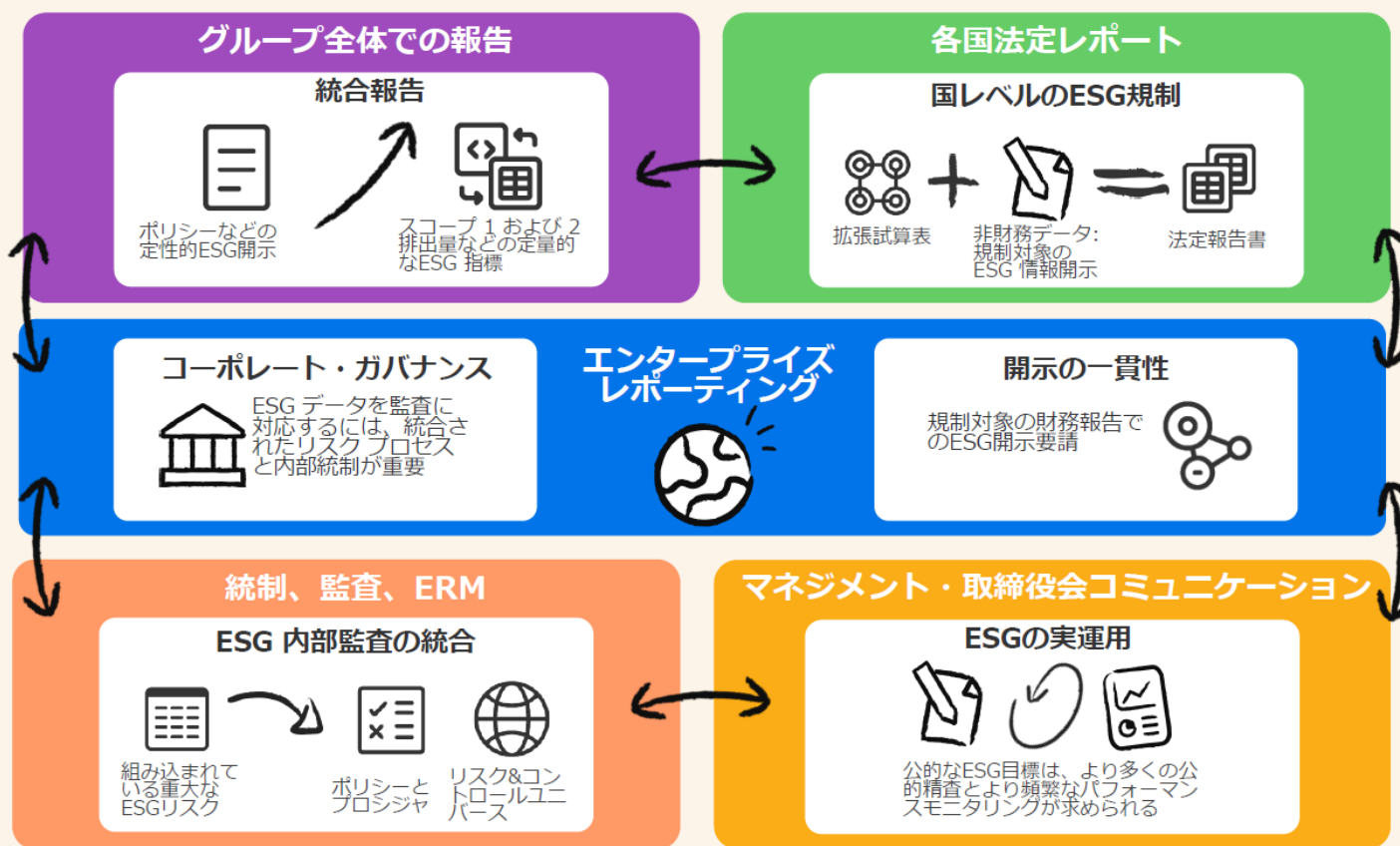
## Workiva ESGソリューション



# ワーキーバジヤパン合同会社からのご提供資料 (2 of 3)

対談に際し、ご提供いただいた資料です。

## 迅速な財務・非財務情報開示と監査性に向けてチーム間連携の必要性



## ワーキーバジヤパン合同会社からのご提供資料（3 of 3）

対談に際し、ご提供いただいた資料です。

### Workiva 価格体系とパッケージングの考え方

スケーラブルかつ予算化がしやすい、ユースケースに基づくサブスクリプション体系

- 以前のユーザベースのライセンスモデルから、ソリューション単位のライセンスモデル（ユーザー数無制限）に変更。
- 各々のソリューションは、ユースケースのバンドルで構成されています。
- *Workiva*のサブスクリプションは、ユースケースを想定したソリューション単位での価格設定になっております。（変動要素は各企業の売上規模）
- ユーザ数などの課金方法によって、顧客がプラットフォームでコラボレーションを進展する機会を阻害することは望ましくない、という*Workiva*の考え方に基づき、ユーザ数が増えても費用は一定というポリシーです。（利用ユーザー数が増えるのは、お客様社内でのコラボレーションの頻度が改善し、*Workiva*への利用価値が高まったことの証明と捉えています）

# Deloitte.

## デロイト トーマツ

デロイト トーマツ グループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイトネットワークのメンバーであるデロイト トーマツ合同会社ならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイト トーマツ 税理士法人、DT弁護士法人およびデロイト トーマツ グループ合同会社を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務、法務等を提供しています。また、国内約30都市に約1万7千名の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト（[www.deloitte.com/jp](http://www.deloitte.com/jp)）をご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、デロイト トウシュ トーマツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイト ネットワーク”）のひとつまたは複数を含みます。DTTL（または“Deloitte Global”）ならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTLおよびDTTLの各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。DTTLはクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は [www.deloitte.com/jp/about](http://www.deloitte.com/jp/about) をご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドはDTTLのメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける100を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、リスクアドバイザー、税務、法務などに関連する最先端のサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促し、より豊かな経済、公正な社会、持続可能な世界の実現に向けて自ら率先して取り組むことを通じて、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来175年余りの歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの約415,000名の人材の活動の詳細については、（[www.deloitte.com](http://www.deloitte.com)）をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、DTTL、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人が本資料をもって専門的な助言やサービスを提供するものではありません。皆様の財務または事業に影響を与えるような意思決定または行動をされる前に、適切な専門家にご相談ください。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証または確約（明示・黙示を問いません）をするものではありません。またDTTL、そのメンバーファーム、関係法人、社員・職員または代理人のいずれも、本資料に依拠した人に関係して直接または間接に発生したいかなる損失および損害に対して責任を負いません。



IS 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301